



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月14日

上場会社名 はるやま商事株式会社
コード番号 7416 URL <http://www.haruyama.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 治山 正史

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 岡部 勝之

TEL 086-226-7101

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	21,409	1.0	△221	—	△90	—	△226	—
24年3月期第2四半期	21,200	△2.9	△764	—	△588	—	△459	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △251百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △439百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第2四半期	△13.97	—
24年3月期第2四半期	△28.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年3月期第2四半期	49,011	31,040	63.3	1,917.09
24年3月期	54,040	31,575	58.4	1,940.93

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 31,028百万円 24年3月期 31,569百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	0.00	—	15.50	15.50
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.50	15.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	54,500	5.8	2,300	43.0	2,500	36.1	420	65.8	25.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	16,485,078 株	24年3月期	16,485,078 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	299,820 株	24年3月期	219,748 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	16,219,584 株	24年3月期2Q	16,265,347 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要による緩やかな回復傾向が見られたものの、欧州の債務危機による世界経済の下ぶれリスク、円高による国内景気の減速懸念などの不安定要素を抱え、依然として不透明な状況のまま推移いたしました。

特に衣料品小売業界におきましては、一旦消費マインドの回復による需要が見られたものの、節約、低価格志向は依然強く、加えて春の低温や長引いた残暑等の天候不順などにより、厳しい環境下で推移しました。

事業の状況といたしましては、イメージキャラクターとして「AKB48」を引き続き起用し、全国の「はるやま」「紳士服マスカット」でクールビズ対応の「男前クール」スーツを発売いたしました。この商品は重量が380gの超軽量仕立てのスーツで、中空エアリッチ糸を使用した素材の採用により「涼しさ」を体感でき、さらに防シワ機能によりビジネスマンが夏場に着用するには快適な商品です。中衣料・軽衣料では、当社のベストセラー商品であるクールビズに対応した夏用「iシャツ」の販売開始や防シワ性、通気性、吸湿速乾機能に優れ、家庭で洗濯のできる夏用「iパンツ」を発売する等、夏を快適に過ごせる数々の高機能商品を提供してまいりました。

店舗施策では、大きいサイズの店フォーエルを中心に出店を強化し、当第2四半期連結会計期間末の総店舗数は381店舗となりました。また、はるやまのブランディング再構築の一環として青森県内の「紳士服マスカット」5店舗を「はるやま」に改称いたしました。引き続き、従来の郊外型紳士服専門店から、ビジネスウェア専門店として店舗、デザインを一新、多くの男性と女性にも広く受け入れられる店舗として、集客力アップ、ブランド構築を図ってまいります。

一方で、エコ活動の一環として環境省推進の「エコ・アクション・ポイント」と関西広域連合推進の「関西スタイルのエコポイント事業」に参加し、また「下取りセール」も積極的に行うなど、エコ活動にも積極的に参加してまいりました。

なお当社グループは衣料品販売事業以外に、100円ショップ事業、広告代理業等を営んでおりますが、重要性が乏しいため記載を省略しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高214億9百万円（前年同四半期比1.0%増）と増収となりました。また、営業損失は2億2千1百万円（前年同四半期は営業損失7億6千4百万円）と5億4千2百万円の利益改善、経常損失は9千万円（前年同四半期は経常損失5億8千8百万円）と4億9千8百万円の利益改善、四半期純損失は2億2千6百万円（前年同四半期は四半期純損失4億5千9百万円）と2億3千2百万円の利益改善となり、大幅に利益改善いたしました。

当社は、このたび、当社のレディスカジュアルMillion Carats（ミリオンカラッツ）事業を平成24年11月1日をもって株式会社ミリオンカラッツへ事業譲渡いたしました。これによる当社グループの損益に与える影響につきましては、当第2四半期連結累計期間に計上しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、現金及び預金が37億3千7百万円減少したこと、商品在庫が4億1千4百万円減少したこと等の理由により、流動資産が57億9千3百万円減少いたしました。一方で、新規出店・既存店の改装等により固定資産が7億6千4百万円増加したことなどにより、総資産は前期末に比べ50億2千8百万円減少し、490億1千1百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金が66億円減少、借入金の返済により長期借入金が5億6千2百万円減少、未払法人税等が4億9千万円減少いたしました。一方で、買掛金の支払いサイトを変えたことによる運転資金の調達により短期借入金が37億円増加したこと等の理由により、前期末に比べて負債合計は、44億9千2百万円減少し、179億7千1百万円となりました。

純資産につきましては、2億5千2百万円の期末配当を実施したこと、2億2千6百万円の第2四半期純損失を計上したこと等により利益剰余金が4億7千8百万円減少したこと等の理由により310億4千万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月7日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ6,326千円減少しております。

(たな卸資産の収益性の低下に基づく簿価切下げにおける見積りの変更)

通常の販売目的で保有するたな卸資産の収益性の低下による簿価切下げ額の算出方法については、在庫管理システム（新MDシステム）の環境整備を契機に、当第2四半期連結会計期間より、従来の「滞留期間に応じ、評価減率を用いて段階的に簿価を切り下げていく見積り方法」から、「一定期間経過後に簿価を処分見込価額まで切り下げる見積り方法」に変更しております。

この変更は、当社の保有するたな卸資産の収益性の低下の事実をより適切に財政状態及び経営成績に反映する方法への変更であり、これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の売上総利益は347,318千円増加し、営業損失、経常損失、税金等調整前四半期純損失がそれぞれ347,318千円減少しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,791,566	3,054,023
受取手形及び売掛金	77,466	51,799
商品	11,854,073	11,439,597
貯蔵品	62,800	51,114
その他	4,597,515	2,992,840
貸倒引当金	△2,783	△1,962
流動資産合計	23,380,638	17,587,412
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,526,403	5,537,908
土地	12,211,179	12,211,179
その他(純額)	988,171	1,281,882
有形固定資産合計	18,725,754	19,030,970
無形固定資産		
のれん	31,500	19,687
その他	826,086	882,560
無形固定資産合計	857,586	902,247
投資その他の資産		
差入保証金	6,433,799	6,744,612
その他	4,680,165	4,785,539
貸倒引当金	△37,696	△39,301
投資その他の資産合計	11,076,268	11,490,851
固定資産合計	30,659,609	31,424,069
資産合計	54,040,248	49,011,481
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,729,528	4,128,822
短期借入金	—	3,700,000
1年内返済予定の長期借入金	909,798	654,588
未払法人税等	607,052	116,998
ポイント引当金	694,661	649,669
賞与引当金	8,000	8,000
店舗閉鎖損失引当金	96,032	89,032
事業譲渡損失引当金	—	51,000
資産除去債務	20,379	27,253
その他	3,267,051	2,489,317
流動負債合計	16,332,502	11,914,681
固定負債		
長期借入金	2,180,498	1,872,829
退職給付引当金	1,840,050	1,905,278
資産除去債務	900,064	919,293
その他	1,211,157	1,359,397
固定負債合計	6,131,770	6,056,798
負債合計	22,464,273	17,971,480

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,991,368	3,991,368
資本剰余金	3,864,978	3,864,978
利益剰余金	23,969,362	23,490,588
自己株式	△287,744	△325,024
株主資本合計	31,537,963	31,021,910
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,833	7,801
繰延ヘッジ損益	2,075	△1,088
その他の包括利益累計額合計	31,908	6,713
新株予約権	6,102	11,377
純資産合計	31,575,975	31,040,000
負債純資産合計	54,040,248	49,011,481

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	21,200,217	21,409,144
売上原価	9,889,091	9,229,493
売上総利益	11,311,125	12,179,651
販売費及び一般管理費	12,075,443	12,401,414
営業損失(△)	△764,317	△221,763
営業外収益		
受取利息	16,536	15,754
受取配当金	2,643	2,774
受取地代家賃	156,422	145,046
店舗閉鎖損失引当金戻入額	53,109	—
その他	44,442	48,277
営業外収益合計	273,153	211,852
営業外費用		
支払利息	39,205	29,799
賃貸費用	50,380	46,740
その他	8,056	3,775
営業外費用合計	97,642	80,314
経常損失(△)	△588,806	△90,225
特別利益		
固定資産売却益	34	—
受取補償金	19,422	—
特別利益合計	19,456	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	19,819
固定資産除売却損	30,064	112,600
減損損失	—	7,819
事業譲渡損	—	51,000
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	3,000
災害による損失	12,502	—
その他	4,169	—
特別損失合計	46,736	194,239
税金等調整前四半期純損失(△)	△616,086	△284,465
法人税、住民税及び事業税	85,612	82,297
法人税等調整額	△242,277	△140,102
法人税等合計	△156,665	△57,804
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△459,420	△226,660
四半期純損失(△)	△459,420	△226,660

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△459,420	△226,660
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,473	△22,032
繰延ヘッジ損益	△1,180	△3,163
その他の包括利益合計	20,292	△25,195
四半期包括利益	△439,128	△251,856
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△439,128	△251,856
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△616,086	△284,465
減価償却費	645,601	694,084
減損損失	—	7,819
のれん償却額	12,504	11,812
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△7,712	△44,991
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△148,000	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	65,619	65,228
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,387	784
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△78,221	△7,000
事業譲渡損失引当金の増減額 (△は減少)	—	51,000
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△68,761	—
受取利息及び受取配当金	△19,179	△18,529
支払利息	39,205	29,799
長期貸付金の家賃相殺額	50,939	50,345
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	19,819
有形固定資産除売却損益 (△は益)	7,113	68,363
売上債権の増減額 (△は増加)	1,311,159	1,898,710
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△701,486	426,162
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,231,819	△6,592,487
経費支払手形・未払金の増減額 (△は減少)	△829,213	△940,482
その他	△263,144	△146,106
小計	△2,829,094	△4,710,131
利息及び配当金の受取額	3,388	3,419
利息の支払額	△38,228	△29,698
法人税等の支払額	△229,076	△566,822
法人税等の還付額	976	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,092,034	△5,303,233
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	—	△110,086
有形固定資産の取得による支出	△287,052	△363,987
有形固定資産の売却による収入	881	—
長期貸付けによる支出	△990	△29,143
長期貸付金の回収による収入	2,380	2,029
差入保証金の差入による支出	△107,168	△425,192
差入保証金の回収による収入	305,368	53,739
その他	△71,387	△233,131
投資活動によるキャッシュ・フロー	△157,969	△1,105,772

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,200,000	3,700,000
長期借入金の返済による支出	△679,614	△554,414
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△110,887	△185,057
自己株式の取得による支出	△14	△37,280
配当金の支払額	△251,655	△251,785
財務活動によるキャッシュ・フロー	157,829	2,671,463
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,092,174	△3,737,543
現金及び現金同等物の期首残高	6,686,043	6,776,066
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,593,869	3,038,523

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。